

丸協にゆーす

- みなさんの SDGsの取り組み
- 今、知っておきたい物流topics
『小売業者によるトラックバース予約システムの導入』



丸協みなさんのSDGsの取り組み

2021年度 各管理職の皆さんは、SDGsについて、自分の部署や各個人において
どういった取り組みができるか？を考え、取り組んでおります。
みなさんがどのような取り組みを進められているのか？ご紹介いたします。



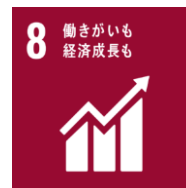
社員情報のシステム化、現行の車両管理システムの改善と車両情報（車検証）の共有（ペーパーレス）



請求書電子化（書面発行・郵送なし）を進めてペーパーレス化



離職率の前年比減（9%以下）、必要資格周知支援を通じて、性別関係なく働ける環境＝従業員定着のための取り組みを行います



有給休暇取得年間10日間を目標に年間計画を立てて確認しながら動く



t -co2当たりの売上拡大3%UP（二酸化酸素トン）



Co2排出量を毎月車両収支と合わせて、「環境効率指数」を算出。自社の環境効率指数の目標達成を目指す

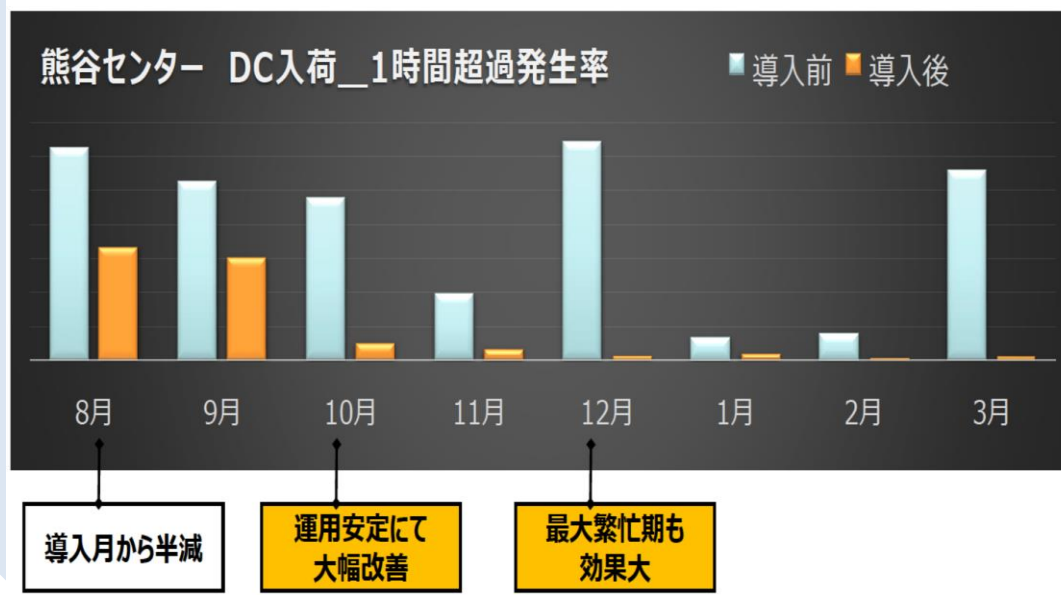
今、知っておきたい物流topics

小売業者によるトラックバス予約システムの導入 ～ヤオコー殿の例～

ドライバー不足をはじめとする物流危機対応のため、ヤオコー殿では自社物流センターについて予約システムを導入しました。2018年から下記の取組みを開始し、実態把握、課題解決の方向性等を検討した上での導入で、大きな効果をあげています。経済産業省における2021年度SCI（サプライチェーンイノベーション）大賞（優秀賞）を受賞。

曜日別、時間帯別、荷下ろし形態別等、待機発生場所の分析

センターリソースの配分状況の分析、各作業観察における無駄取り等の改善活動



左の図はヤオコー熊谷センターの待機時間の様子です。バス予約システム導入後、大幅に待機時間が減っています。

待機時間に悩んでおられる方があれば、参考にSCI大賞のサイトをご覧ください。

資料：経済産業省SCI大賞ホームページ